



士別ロータリークラブ会報

創立 1960・3・24

RI 第 2500 地区

Vol. 027

No. 2334

地域を育み、大陸をつなぐ

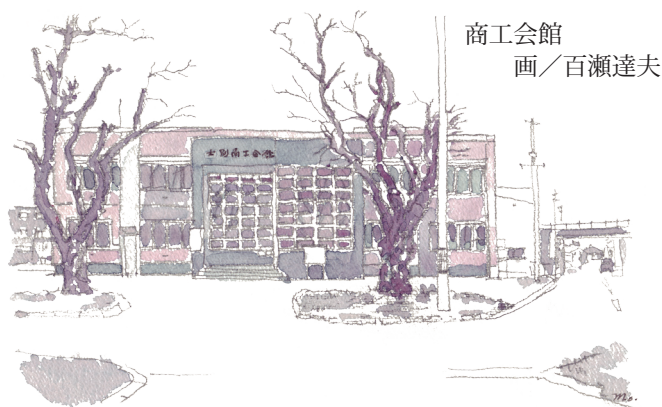
2010～2011 年度 RI 会長 レイ・クリングスミス



地域を育み、大陸をつなぐ

士別 RC テーマ:

「ロータリーを見つめ、明日の地域へつなごう」

商工会館
画/百瀬達夫

- 例会場/士別グランドホテル
- 例会日/毎週月曜日 12:10～13:10
- 事務所/士別グランドホテル TEL 0165-23-1234
- 会長/神田 英一 ●副会長/若森 孝
- 幹事/宮崎 隆雄

第 2415 回例会 2011 年 2 月 28 日 (月)

本日のプログラム ・夜間例会

前回 (2 月 21 日) の記録

・普通例会・ゲスト卓話 (工藤博文 氏)

司 会 阿達 勇副会場監督
 斉 唱 奉仕の理想
 本日の出席 会員 54 名中 出席者 42 名 出席率 77.7% 修正 81.4%
 本日の欠席 今井 裕、川橋勝美、北村浩史、黒田康敬、汐川泰晴、鈴木 勉、
 中川涼一、本山忠之、吉川紀雄、菅原清人、野 英俊、深尾幸夫、

メイクアップ
 ゲスト 工藤博文氏 (士別市建築課)
 ニコニコBOX

累計 244,000 円

例 会 予 定

● 2 月例会日 (世界理解月間)

2 月 7 日 (月) 例会・理事会
 2 月 14 日 (月) 例会
 2 月 21 日 (月) 例会
 2 月 28 日 (月) 夜間例会

● 3 月例会日 (識字率向上月間)

3 月 7 日 (月) 例会・理事会
 3 月 14 日 (月) 例会
 3 月 21 日 (月) 休会 (法定休日: 春分の日)
 3 月 28 日 (月) 夜間例会

■会務報告 神田英一会長

●先週の例会がバレンタインディで谷会員から全員にチョコとコーヒーを頂きました、全員を代表してお礼申し上げます。

●先週 17 日にショッキングな事件が起きました。詳細ははっきりしていませんが、包丁で刺され夫婦と次男の 3 人が亡くなりました。親子間での殺人は新聞等で見ますがまさか士別で起こるとはショックでした。家庭の中は外から分かりづらいものですが、辛く、考えさせられました。

●武富士元専務が、生前贈与を受けた海外資産にたいし課税された贈与税の課税取り消しの判決があり、納付済みの本税と延滞税約 1,600 億円に還付加算金約 400 億円を上乗せして約 2,000 億円が還付されることになりました。武富士に対しては過払い金の返還問題で法的整理を進めていますが、法人税でも払いすぎになるのではないかと還付請求の手続きを進めているようです。桁外れで雲の上の話ですが、租税回避が目的で、著しい不公平感や、一般の法感情からは違和感もあるとしながらも、厳格な法解釈が求められる以上課税取り消しはやむを得ない。ただ厳格な法解釈には怖さも感じます。

●士別 RC の吉川院長の送別会は、2 月 28 日に行います。

■幹事報告 宮崎隆雄幹事

1. 大変急な御案内で申し訳ございませんが、本日午後 5 時より、第 1 会 IM 運営委員会を士別グランドホテル 2 階にて開催致します。出席対象者の会員には御案内文書を配布させて頂きましたので、例会終了までに幹事までご提出下さい。宜しくお願い致します。

2. 先週同様、本日も各テーブルに地

区合同セミナー申込書を配布させて頂きました。開催は、3 月 26 日(土)午後 1 時より、稚内サンホテルとなっております。今回は、バス利用にて日帰りを予定しております。沢山の会員の参加を期待しております。宜しくお願い致します。

3. RI2500 地区足立パストガバナーより、2008 ～ 2009 年度の報告書が届いております。資料台に置いてございますのでご観覧下さい。

4. 3 月のロータリーレートは 84 円との報告が来ておりますのでお知らせ致します。

■委員会報告

●プログラム委員会

泉谷 勇委員長

ロータリー塾が 2 月 23 日(水)に変更になっております。会場は士別グランドホテル 2 階、午後 6 時より開催致します。講師は百瀬会員にお願いをしておりますので宜しくお願い致します。

■次年度報告

●伊藤優市次年度幹事

本日例会終了後、当ホテル 2 階にて次年度理事会を開催致しますので、出席義務者のご出席をお願い致します。

■その他報告

●RI2500 地区

ガバナー補佐 佐藤元信

会長、幹事からも御案内がありました、地区合同セミナーの件でございますが、例年ガバナーを排出している場所でセミナーを開催しておりますが、今年度は大勢の会員に出席して頂きたく各地域での開催と成りました。初めてのケースなので場所や日時の調整が付かず開催が遅くなってしまいました。今回は全会員対象のセミナーと

成っておりますので、多くの参加者のご登録をお願い致します。この後、名寄 RC、美深 RC、下川 RC、枝幸 RC、中頓別 RC の例会に出席をさせて頂いて御案内をさせて頂きたいと思ひます。ガバナー補佐付の近井会員にもお世話に成りますがよろしくお願ひします。

■ゲスト卓話

●工藤 博文 氏

日本のカーリングの歴史も 30 年位に成ってきましたが、オリンピック以外で皆様が目にしたり耳にしたりすることは余りありませんでしたが、本日は貴重なお時間をお借りしてカーリングのご紹介をさせて頂きたいと思ひます。

先ほど会報を見せて頂きまして会務報告の中で、先日の日本選手権について紹介を頂きありがとうございます。

カーリングの名称のカーは女性の毛先のカールしているところがカーリングのストーン似ている事から付いたらしいです。カーリングの歴史、世界では 1510 年ごろスコットランドが発祥の地とされています。これは、1511 年の刻印の入ったストーンが見つかった事から発祥の地ではないかと云うこととでございます。始まった頃は屋外で長いほうきでストーンの前をはいていたと想像されます。

ニュージーランドでは昔のまま続け



ているところもでございます。世界では世界選手権、世界ジュニア選手権、世

界シニア選手権、世界ミックスダブル選手権、オリンピック大会、世界車イス選手権などの大会が開催されております。日本は世界選手権に出るためにはパシフィック選手権に出場しなければ成りません。日本、中国、韓国、チャイニーズタイペイ、ニュージーランド、オーストラリアの 6 カ国が戦っております。世界の中で女子の中国は非常に力を付けておりまして、メダルも獲得をしており

ます。
北海道では 1977 年ごろ、当時の堂垣内



知事がカナダでこの様なスポーツを見て北海道で普及させましよう云うことで、北方圏センターがカーリングの普及のための準備を始めております。1980 年の 1～2 月にカナダから講師を呼んで講習会を士別市にて開催致しました。2 回目以降は苫小牧や札幌で開催を致しております。次の年の 1981 年に北海道カーリング協会が設立されております。その当時は 20 を超える協会がありましたが、市町村合併の影響もございまして現在は 16 の協会で会員数が 1,300 名と成っております。ピーク時の会員数から見ますと半数に成ってしまいました。今年度は第 30 回北海道カーリング選手権が常呂町で開催し士別は準優勝をさせて頂きました。日本の中では女子が脚光を浴びておりまして、北見の常呂町に在住をしております、本橋 麻里選手とチームメイト 4 名が注目を集めていますし、テレビでも日本選手権以降チーム青森の特集、また、オリンピックでも解説をしていました、小林宏さんのチームの特集や新しいチームの中部電力などの女子チームが取り上げら

れております。北海道のチームも次期オリンピックには出場して頂きたいと願っております。日本選手権でも報道関係者が非常に多く来ておりまして、女子のゲームに成りますと40～50も



の報道陣が来ておりました。男子のゲームに成りますと報道陣の皆様はお昼に出かけて行ってローカル大会の様な感じに成ってしまいますが、それぐらい今、報道のメディアの方は女子に注目しております。カーリングを最近知った方の中には、カーリングは女子だけの競技と思われる方もいらっしゃる様で、男子は無いんですかと質問されて困った事もあります。男子も強くなってオリンピックに出る必要があると思います。

カーリングの道内の環境と致しましては、屋内専用施設が増えて来ております。稚内市、名寄市、妹背牛町、南富良野町、常呂町、帯広市（民間）が、屋内施設を保っており、札幌市も建設予定でございます。屋外専用施設は士別市、伊達市、池田町です。

士別のカーリングの普及状況は、カーリングは全ての人が遊べるユニバーサルなスポーツに成ってきたのではないかと思います。最近では小学生から高齢者の方や車イスの方までカーリングが楽しめる様に成ってきました。それに伴い、施設も車イスでの対応や

ユニバーサルデザインを取り入れた施設が今後増えてくる事に成り、小学生から中高年の方にも楽しんで頂けるスポーツに成っています。しかし、屋外施設は自然の氷の為、外気温に大きく左右されます。外気温が -20°C に成ったら氷に霜が立ってしまいストーンが滑らなく成ってしまいます。カーリングのおもしろさを伝える為には少しの力でストーンが向こうに届く様なアイスが出来れば子どもたちにも楽しくカーリングをやって頂けるのではないかと思います。

今回、日本選手権で準優勝しましたチームを紹介させて頂きますが、士別市のチームは士別市役所と云うチーム名で日本選手権に出ましたが、何時もはZERO（ゼロ）と云うチーム名で活動しております。1987年にチームを結成して以来、ほぼ、同じメンバーで活動しております。出来れば長く続けて行きたいと思いますが、日本選手権で体力の限界も感じておりますので、早く若い選手が出て来てくれれば良いと思っております。過去の成績は北海道選手権は優勝1回、日本選手権は準優勝4回、パシフィック選手権は2回出場で何れも2位、長野オリンピック出場は士別市の工藤、中峰（1998年、5位）です。

これからも、色々な大会で士別市の名前が出てくるように士別協会も頑張って行きますので、今後も皆様の応援をよろしくお願い致します。

